

「食形態・とろみ チェックシート」の説明

1. 「食形態・とろみ チェックシート」とは

適切な「食支援」を行うためには、「姿勢調整・食べさせ方・食環境の配慮」がとても重要です。これを前提としたうえで、提供している『食形態』と『とろみ』に対して、その適正を評価するためのチェックシートになります。各施設において食事介助に携わる職員一人一人が食事場면을観察（ミールラウンド）することで対象者の「日々の食べる変化」をチェックし、提供している食事内容について再検討する際に参考資料として御利用下さい。ただし、チェックが付いたからといって直ぐに「食下げ」や「絶食」などということではありません。

「食形態マップ」に対応して提供している「食形態」が現状の食べる機能に合っているか？「食上げ」はできるレベルか？「とろみ」はどうすればよいか？などについて、このチェックシートの結果を食事場面の観察（ミールラウンド）の際に参考にして頂ければ良いと考えています。

2. 使用方法

「複数評価用」と「個人時系列評価用」の2種類ありますので運用しやすい方を使って下さい。また、該当する箇所に○や☑を付けコメント入力も行って下さい（症状がより理解しやすくなります）。

※補足として以下の内容を記載しています。

*→不顕性誤嚥（むせのない誤嚥）の可能性が高い項目

☆→とろみを検討

★→食下げを検討

※むせの頻度について：1回の食事時間中に むせが1・2回…時々

むせが3回以上…頻回

※「食上げ」の方法 基本：チェックが無い場合は1段

階ずつ食上げ可能。

手順：チェックが1つも付かない状態が1週間以上続いた場合、1～2品ずつ食形態を上げ、再度チェックシートで観察を行う。再評価時にチェックが入った場合は元の食形態に戻し、経過観察を行う。

3. 食事観察のポイント

対象者が経口摂取している状況をそのまま記載して下さい。何を食べてむせたのか、どんな時にむせたのかなどをコメントに記載してください。その内容が対象者の摂食嚥下評価につながります。

4. 問い合わせ

チェックが多く不安、どうしたらよいかわからないなどの困難事例があれば、「食力の会」で検討・助言も行いますのでご連絡下さい。

食力の会 事務局 公立能登総合病院 臨床検査部 森田絹代

TEL : 0767-52-6611 (内線 3112)

Mail : syokuriki@noto-hospital.jp